

資料 2－2－2 広域的な応援協力体制

1 原子力発電所の災害の場合に派遣する専門家

令和6年4月1日現在

| 職 名 | 専 門 又 は 任 務 | 所在地 |
|--|--|------|
| 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 理事長があらかじめ指名している指名専門家 ^{※1} | 原子炉工学 核燃料工学 臨界・遮へい安全評価 輸送 この分野から1～2名程度 環境モニタリング 環境影響評価 個人被ばく評価 放射線管理 この分野から1～2名程度 | 茨城県等 |
| 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計測標準総合センター 分析計測標準研究部門 放射線標準研究グループ 研究グループ長 | 放射線計測 | 茨城県 |
| 一般財団法人 電力中央研究所 理事長があらかじめ指名している指名専門家 | 原子力工学 | 東京都等 |

^{※1} 指名専門家:指定公共機関として、原子力緊急時において応急対策のための技術的検討を円滑かつ適切に遂行するため、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構理事長があらかじめ指名している専門家
 (専門分野:原子炉工学、核燃料工学、臨界・遮へい安全評価、輸送、環境モニタリング、環境影響評価、個人被ばく評価、放射線管理の8分野、約120名程度を指名)

2 緊急時モニタリング要員及び資機材

令和6年4月1日現在

| 組 織 | 要 員 | 機 材 |
|--|---|--|
| 国立研究開発法人 日本原子力研究 開発機構 緊急時連絡先（24時間体 制） 原子力緊急時支援・ 研修センター | 緊急時モニタリング要員 約10名 | 1 サーベイメータ 70台 2 モニタリングカー 2台 3 ダストサンプラ 5台 4 ヨウ素サンプラ 5台 5 ホールボディカウンタ車 2台 6 体表面測定車 2台 7 現場指揮車 1台 |
| 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機 構 緊急時連絡先 量子医学・医療部門高度 被ばく医療センター ①運営企画室長 ②運営企画室技術統括 ③運営企画室主査 igaku | 理事長があらかじめ指定している 緊急時モニタリング要員 約9名 | 1 サーベイメータ 10台 <div>γ線用 2台 $\beta \cdot \gamma$線用 4台 α線用 2台 中性子線用 2台</div> 2 可搬型 γ 線エリアモニタ 3台 3 可搬型 α 線ダストモニタ 3台 4 可搬型 β 線ダストモニタ 3台 5 集じん器 3台 |

3 原子力災害医療に係る専門家

令和6年4月1日現在

| 職 名 | | 任 務 | 担 当 |
|--------------------------|------------|---------------|---------------------------|
| 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 | 専門家 5 名 | 医療活動 指導・協力 | 原子力災害医療 線量評価 放射線防護等 |
| 公益財団法人 放射線影響研究所 | 分子生物科学部研究員 | | 計測 |